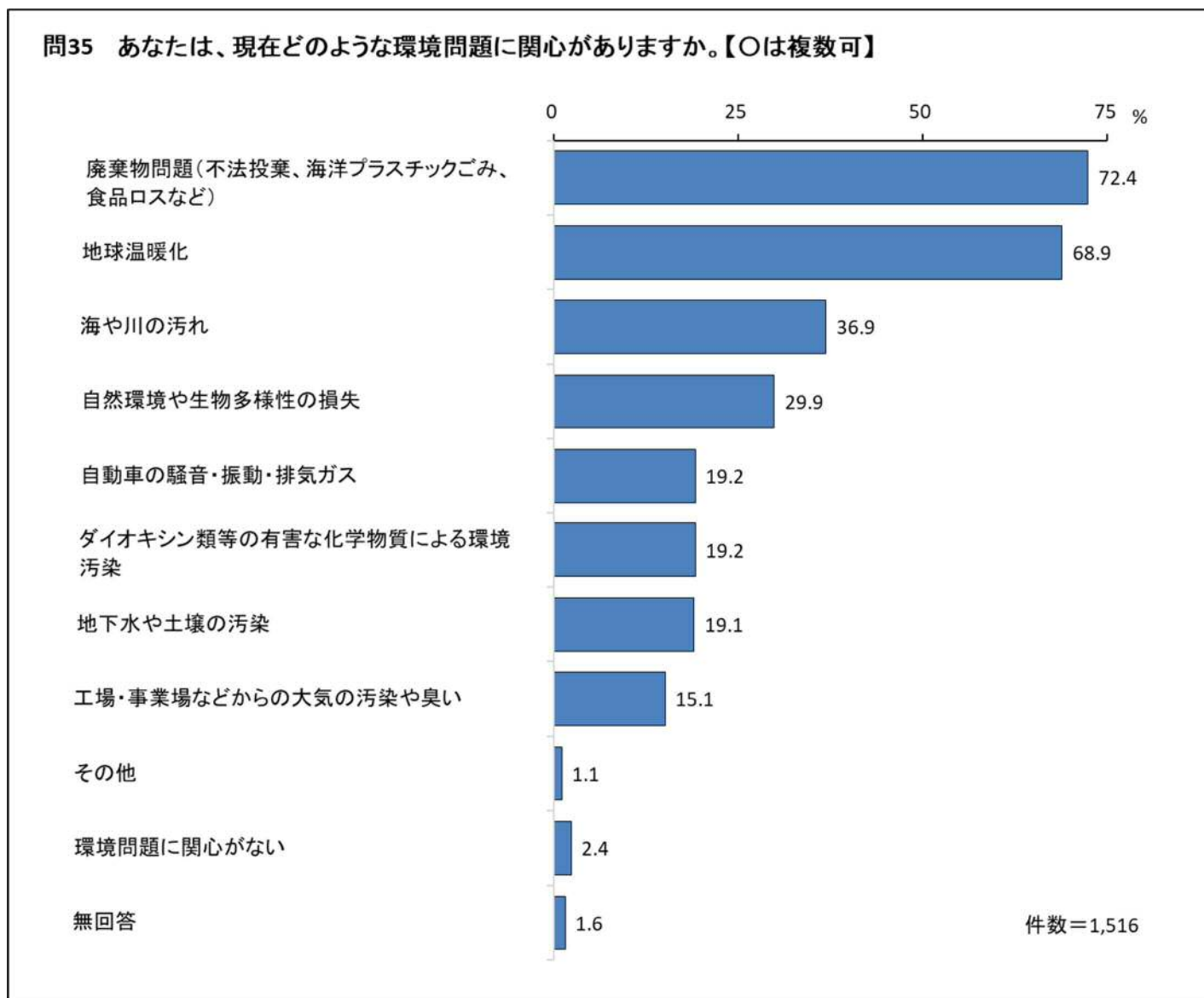


6 これからの環境政策の方向性について

(1) 現在、関心のある環境問題

「廃棄物問題（不法投棄、海洋プラスチックごみ、食品ロスなど）」が72.4%



現在、関心のある環境問題について、「廃棄物問題（不法投棄、海洋プラスチックごみ、食品ロスなど）」と答えた人の割合が72.4%と最も高く、続いて「地球温暖化」（68.9%）、「海や川の汚れ」（36.9%）の順となっている。

現在、関心のある環境問題（性別、年齢別、地域別、職業別）

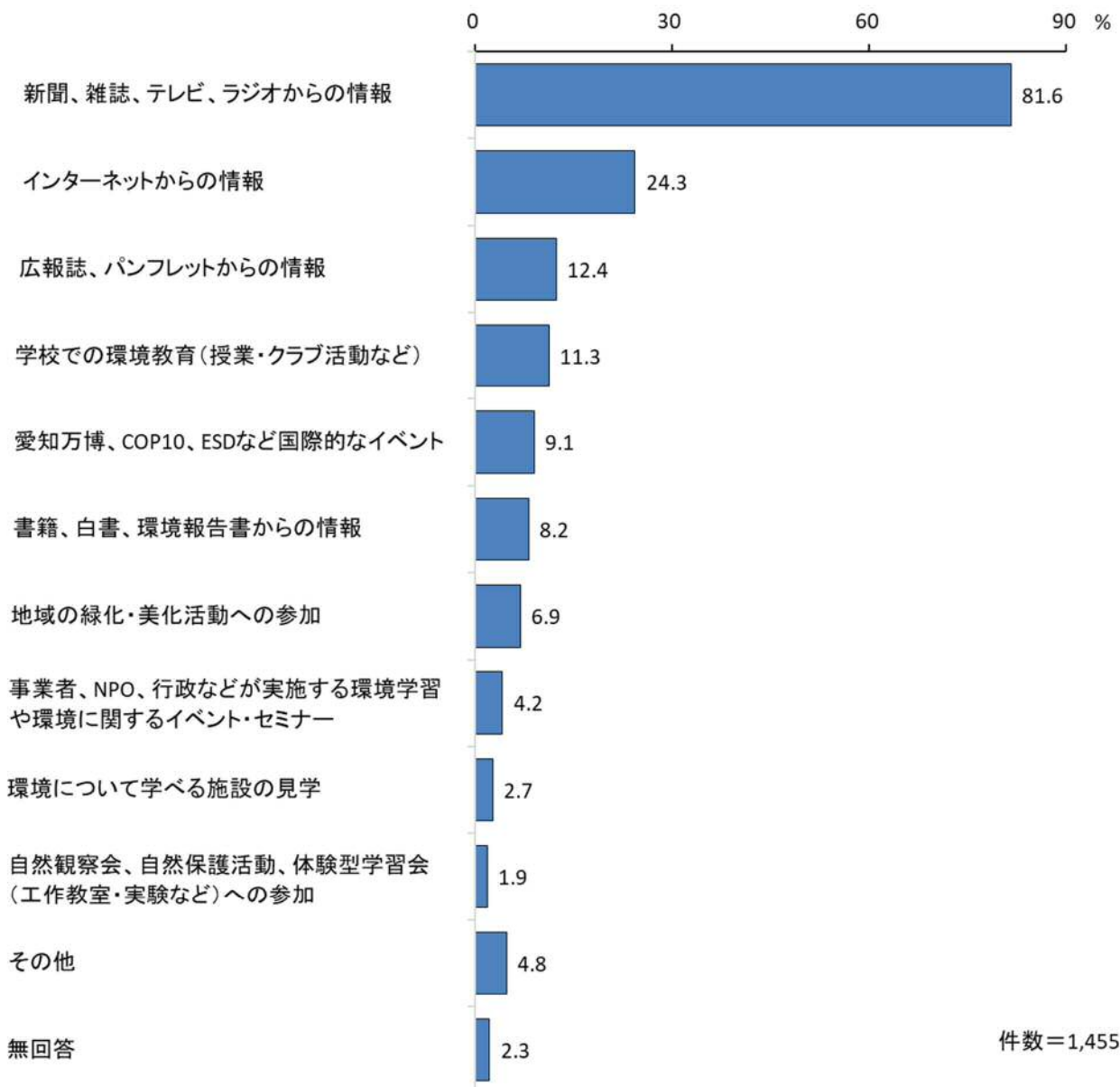
(%)

	廃棄物問題(不法投棄、海洋プラスチックごみ、食品ロスなど)	地球温暖化	海や川の汚れ
< 性別 >			
男	75.5	66.5	41.7
女	70.2	72.1	32.9
< 年齢別 >			
18歳・19歳	57.1	64.3	35.7
20～29歳	51.3	50.4	28.6
30～39歳	68.2	70.3	38.0
40～49歳	68.6	70.8	35.8
50～59歳	78.2	73.6	34.5
60～64歳	86.6	69.7	39.5
65歳以上	76.4	70.9	40.3
< 地域別 >			
名古屋地域	74.5	69.0	40.7
尾張地域	71.4	66.8	33.7
西三河地域	72.3	75.2	36.5
東三河地域	72.8	69.4	42.2
< 職業別 >			
自営業	76.2	68.3	33.3
勤め人	71.8	71.4	37.1
無職	73.8	67.1	39.1

	自然環境や生物多様性の損失	自動車の騒音・振動・排気ガス	ダイオキシン類等の有害な化学物質による環境汚染
< 性別 >			
男	31.1	21.4	17.0
女	29.0	17.7	21.5
< 年齢別 >			
18歳・19歳	21.4	17.9	28.6
20～29歳	28.6	26.1	13.4
30～39歳	24.0	24.5	19.8
40～49歳	34.3	23.0	21.2
50～59歳	34.5	14.9	20.7
60～64歳	32.8	12.6	20.2
65歳以上	27.9	18.0	18.2
< 地域別 >			
名古屋地域	32.4	20.7	21.4
尾張地域	28.6	17.8	19.8
西三河地域	31.4	21.7	16.0
東三河地域	25.9	17.0	19.0
< 職業別 >			
自営業	32.5	19.0	17.5
勤め人	32.5	19.1	19.9
無職	26.6	20.7	19.8

(2) 環境問題に関心を持つようになったきっかけ
 「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」が81.6%

問36 《問35で、「1」～「9」の何らかの環境問題に関心があると答えた方にお聞きします。》
 問35で選択した環境問題に関心を持つようになったきっかけは何ですか。【〇は複数可】



環境問題に関心を持つようになったきっかけについて、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報」と答えた人の割合が81.6%と最も高く、続いて「インターネットからの情報」(24.3%)、「広報誌、パンフレットからの情報」(12.4%)の順となっている。

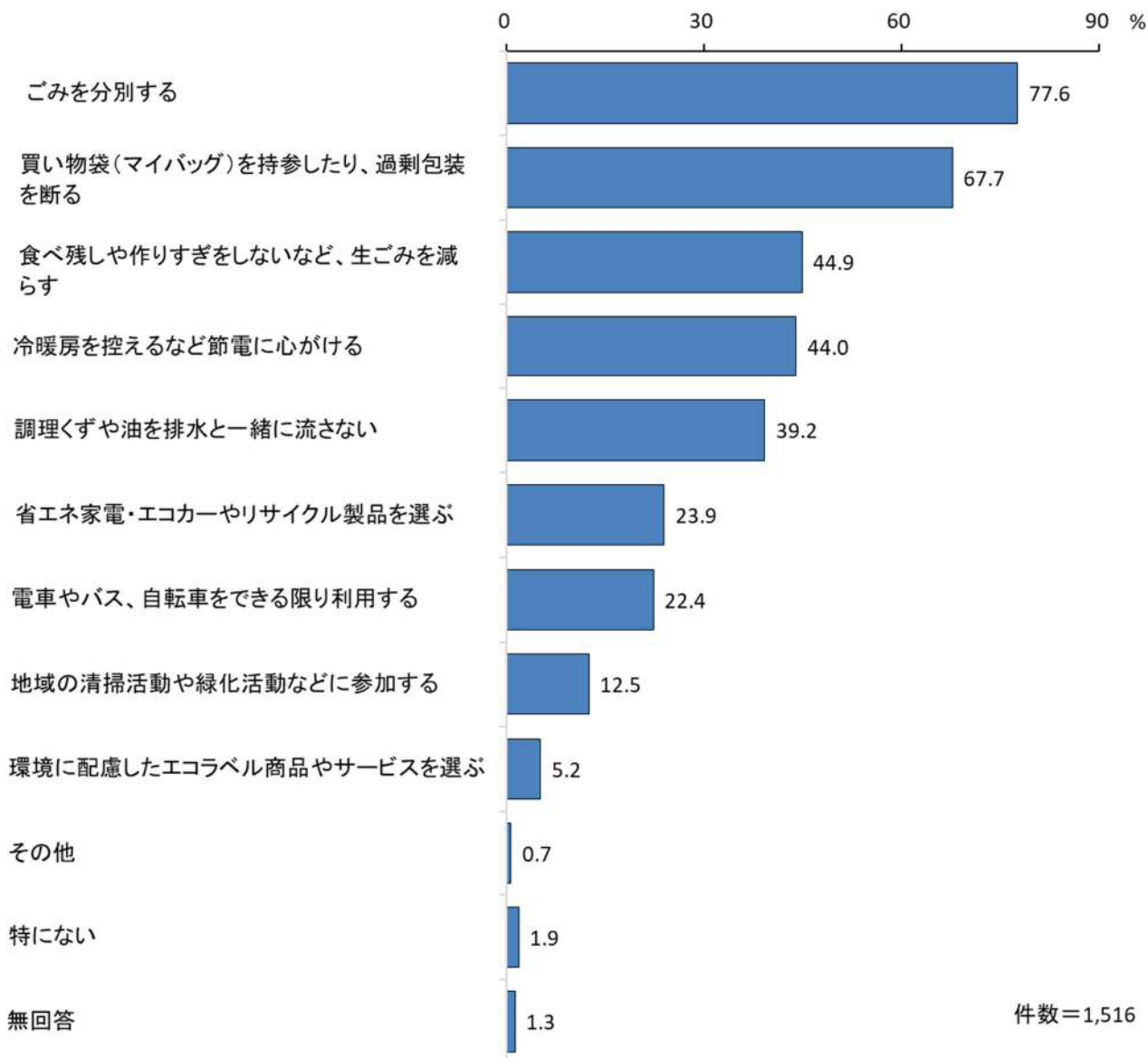
環境問題に関心を持つようになったきっかけ（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

	新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報	インターネットからの情報	広報誌、パンフレットからの情報
< 性別 >			
男 性	81.4	28.9	12.0
女 性	81.7	20.8	12.9
< 年齢別 >			
18 歳・19 歳	35.7	14.3	0
20 ～ 29 歳	55.1	36.4	3.7
30 ～ 39 歳	73.0	35.1	4.9
40 ～ 49 歳	81.2	32.3	7.1
50 ～ 59 歳	86.6	28.5	9.1
60 ～ 64 歳	88.1	21.2	15.3
65 歳以上	89.2	13.1	22.2
< 地域別 >			
名古屋地域	82.3	27.4	12.9
尾張地域	80.9	24.0	11.0
西三河地域	81.7	21.5	12.5
東三河地域	80.9	25.5	17.7
< 職業別 >			
自営業者	79.3	28.9	19.0
勤め人	80.8	29.5	9.6
無職	82.7	16.9	15.5
学校での環境教育(授業・クラブ活動など)			
愛知万博、COP10、ESDなど国際的なイベント			
書籍、白書、環境報告書からの情報			
< 性別 >			
男 性	8.8	9.2	8.8
女 性	13.5	9.0	7.8
< 年齢別 >			
18 歳・19 歳	78.6	3.6	3.6
20 ～ 29 歳	45.8	8.4	2.8
30 ～ 39 歳	18.9	8.6	7.0
40 ～ 49 歳	10.5	7.5	6.8
50 ～ 59 歳	4.7	12.3	10.7
60 ～ 64 歳	3.4	11.0	11.0
65 歳以上	2.7	8.5	9.1
< 地域別 >			
名古屋地域	10.7	11.0	10.7
尾張地域	12.4	8.1	7.1
西三河地域	10.3	9.9	8.3
東三河地域	11.3	5.7	5.7
< 職業別 >			
自営業者	3.3	7.4	14.9
勤め人	13.3	10.0	8.2
無職	10.8	8.6	7.4

(3) 日常生活で行っている環境にやさしい行動
「ごみを分別する」が77.6%

問37 環境問題の解決には、県民一人一人の行動が大切です。あなたが日常生活で行っている環境にやさしい行動はどれですか。【〇は複数可】



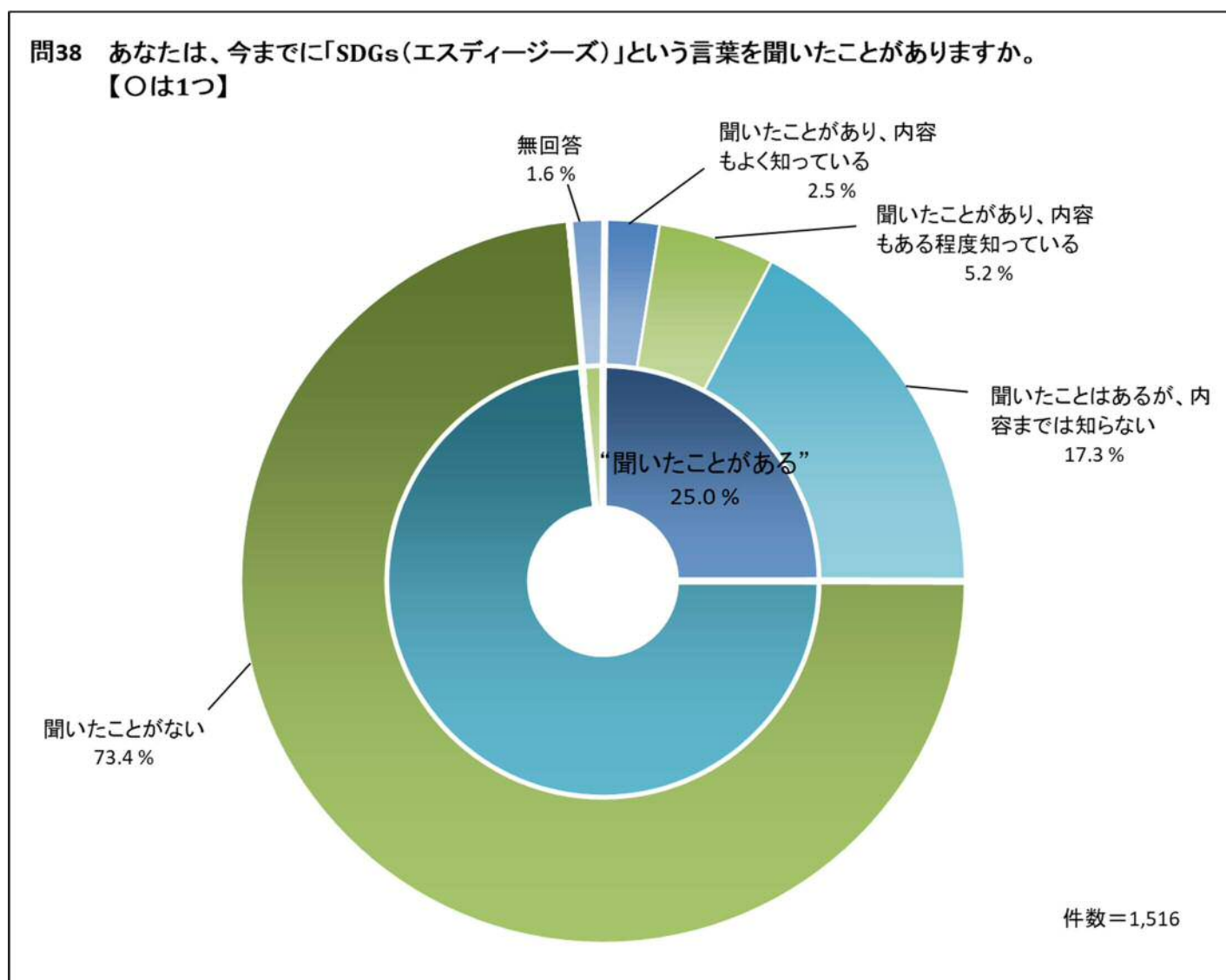
日常生活で行っている環境にやさしい行動について、「ごみを分別する」と答えた人の割合が77.6%と最も高く、続いて「買い物袋（マイバッグ）を持参したり、過剰包装を断る」（67.7%）、「食べ残しや作りすぎをしないなど、生ごみを減らす」（44.9%）の順となっている。

日常生活で行っている環境にやさしい行動（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

	ごみを分別する	買い物袋(マイバッグ)を持参したり、 過剰包装を断る	食べ残しや作りすぎをしないなど、 ごみを減らす
< 性別 >			
男	74.8	54.9	40.6
女	81.4	79.9	48.8
< 年齢別 >			
18歳・19歳	67.9	57.1	46.4
20～29歳	66.4	63.0	43.7
30～39歳	76.6	71.4	49.5
40～49歳	75.5	67.9	40.1
50～59歳	81.6	71.6	46.0
60～64歳	88.2	68.9	44.5
65歳以上	79.6	66.5	45.7
< 地域別 >			
名古屋地域	77.9	65.3	47.1
尾張地域	79.0	68.2	42.8
西三河地域	78.6	70.8	47.8
東三河地域	74.1	70.1	40.1
< 職業別 >			
自営業者	76.2	60.3	36.5
勤め人	77.2	68.4	44.4
無職	81.2	70.9	48.1
冷暖房を控えるなど節電に心がける			
調理くずや油を排水と一緒に流さない			
省エネ家電・エコカーやリサイクル製品を選ぶ			
< 性別 >			
男	40.9	26.4	23.5
女	46.8	51.0	24.7
< 年齢別 >			
18歳・19歳	35.7	25.0	7.1
20～29歳	39.5	17.6	8.4
30～39歳	38.0	33.9	24.5
40～49歳	41.6	38.7	19.3
50～59歳	37.5	47.9	30.7
60～64歳	49.6	37.0	34.5
65歳以上	50.9	43.7	25.7
< 地域別 >			
名古屋地域	46.2	39.8	22.5
尾張地域	42.1	38.7	23.4
西三河地域	44.3	41.5	27.7
東三河地域	42.2	34.7	24.5
< 職業別 >			
自営業者	40.5	37.3	26.2
勤め人	40.7	37.0	25.0
無職	49.2	45.0	23.1

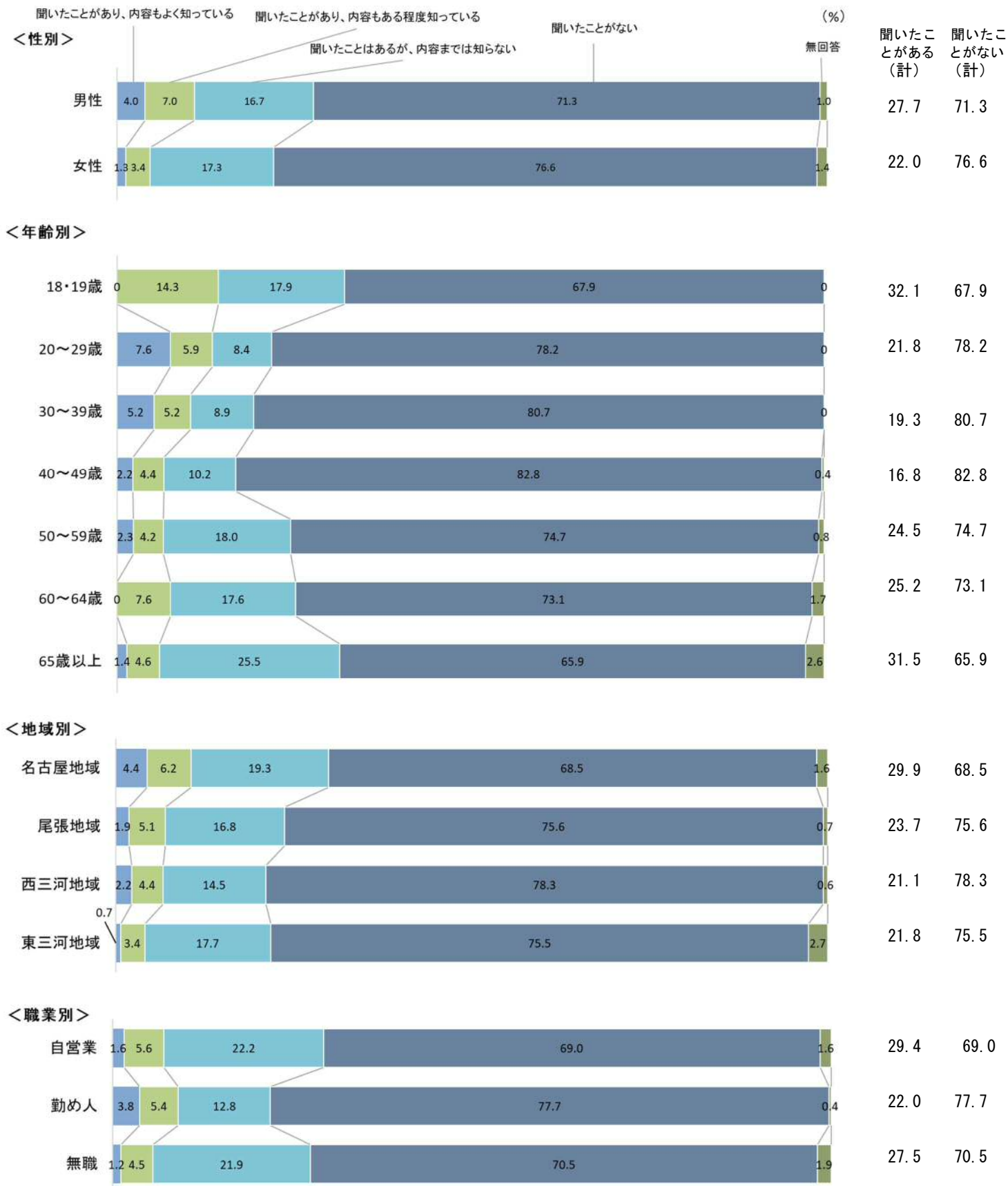
(4) 「SDGs」の認知度
「聞いたことがない」が73.4%



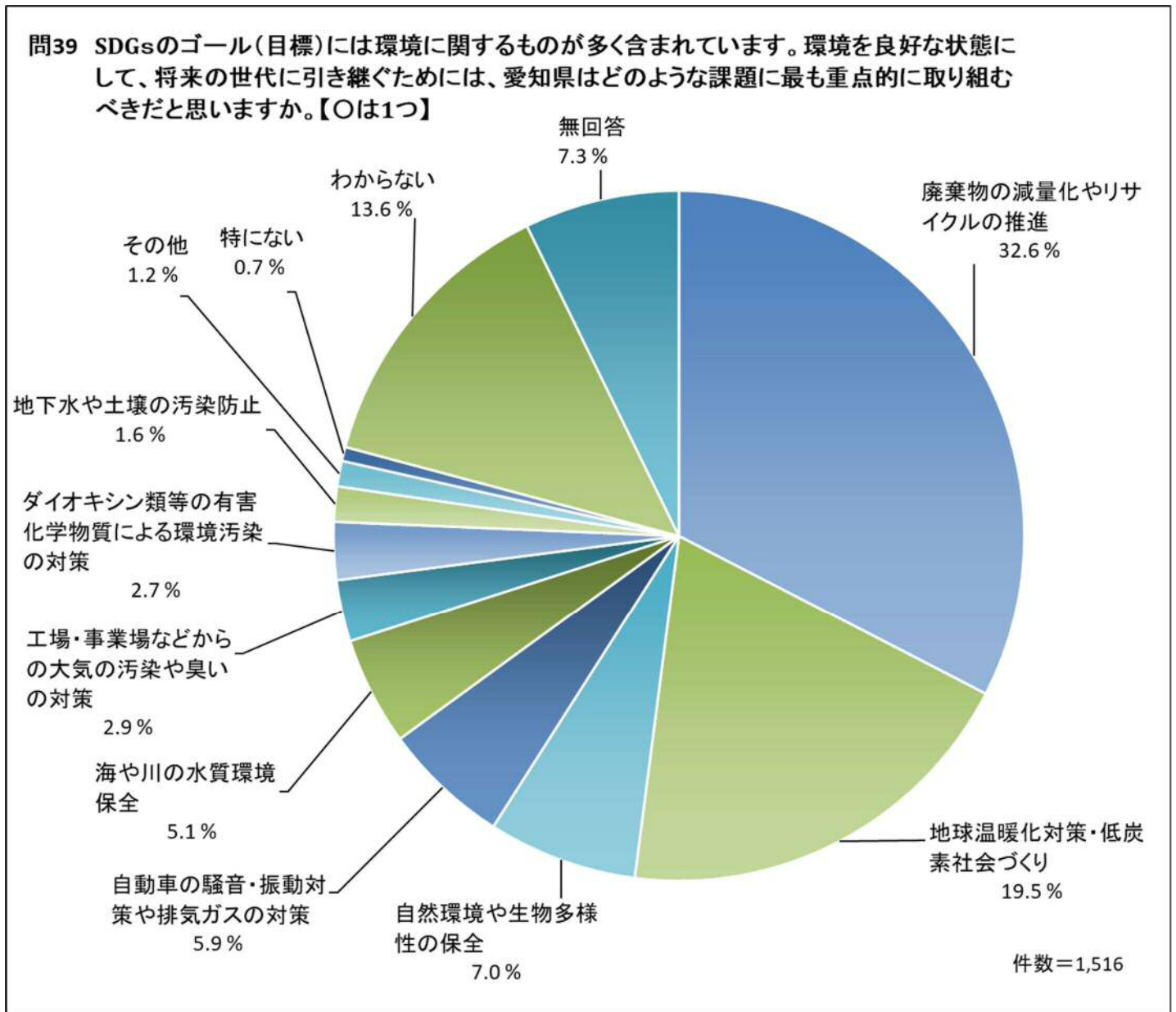
「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度について、「聞いたことがあり、内容もよく知っている」（2.5%）と「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」（5.2%）と「聞いたことはあるが、内容までは知らない」（17.3%）を合わせた“聞いたことがある”と答えた人の割合が25.0%となっている。

一方で、「聞いたことがない」と答えた人の割合は73.4%となっている。

「SDGs」の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

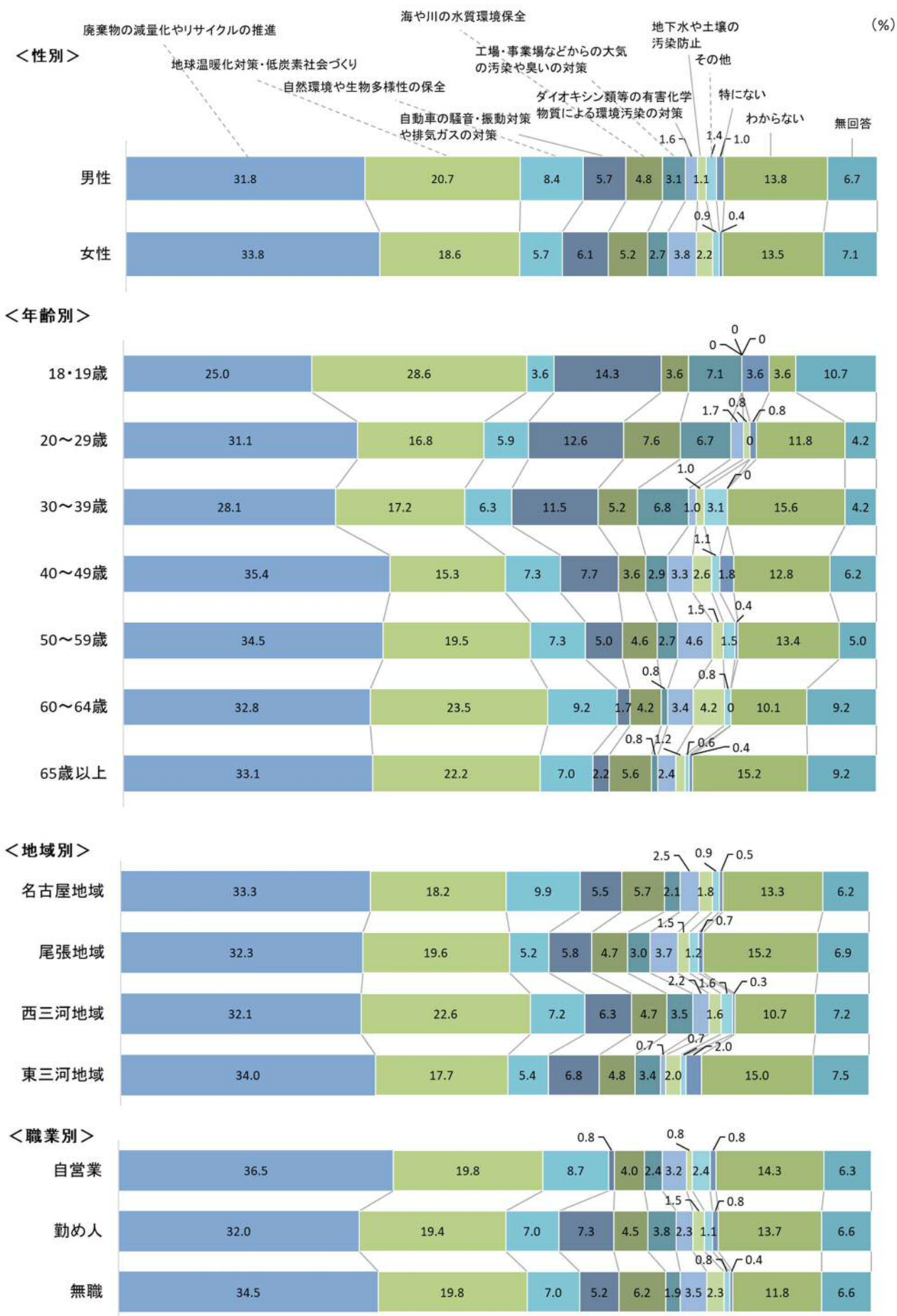


(5) 将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題
「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」が32.6%



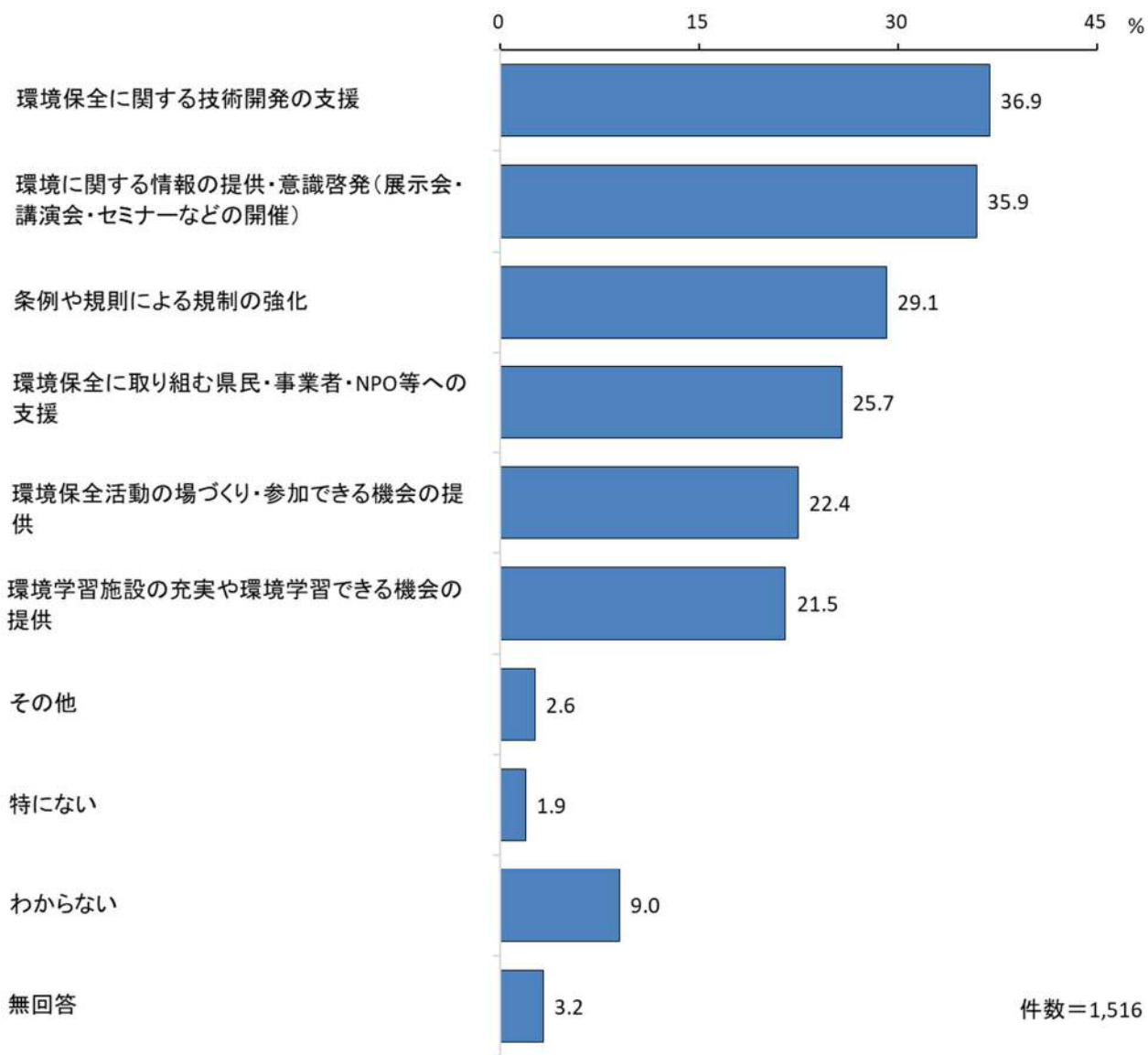
将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題について、「廃棄物の減量化やリサイクルの推進」と答えた人の割合が32.6%と最も高く、続いて「地球温暖化対策・低炭素社会づくり」(19.5%)、「自然環境や生物多様性の保全」(7.0%)の順となっている。

将来の世代に良好な環境を引き継ぐために県が最も取り組むべき課題（性別、年齢別、地域別、職業別）



(6) 環境問題を解決するために県に求めること
「環境保全に関する技術開発の支援」が36.9%

問40 環境問題の解決には、全ての人々が環境意識をもって取り組んでいく必要があります。そうした取組を広く浸透させていくために、今後、愛知県は何をするべきだと思いますか。
 【〇は複数可】



環境問題を解決するために県に求めることについて、「環境保全に関する技術開発の支援」と答えた人の割合が36.9%と最も高く、続いて「環境に関する情報の提供・意識啓発（展示会・講演会・セミナーなどの開催）」（35.9%）、「条例や規則による規制の強化」（29.1%）の順となっている。

環境問題を解決するために県に求めること（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

	環境保全に関する技術開発の支援	環境に関する情報の提供・意識啓発 (展示会・講演会・セミナーなどの開催)	条例や規則による規制の強化
< 性別 >			
男	39.9	38.3	32.9
女	34.9	34.6	26.4
< 年齢別 >			
18歳・19歳	21.4	14.3	32.1
20～29歳	37.8	28.6	30.3
30～39歳	36.5	29.2	32.3
40～49歳	39.4	32.8	32.8
50～59歳	42.5	37.9	25.3
60～64歳	38.7	37.0	31.9
65歳以上	34.3	43.3	27.7
< 地域別 >			
名古屋地域	34.7	34.7	33.1
尾張地域	37.4	36.2	27.4
西三河地域	42.5	38.4	29.2
東三河地域	34.0	38.1	26.5
< 職業別 >			
自営業者	39.7	39.7	23.8
勤め人	38.5	34.5	30.9
無職	36.2	38.2	29.8
環境保全に取り組む県民・事業者・NPO等への支援			
< 性別 >			
男	27.0	23.5	21.6
女	25.4	22.0	22.2
< 年齢別 >			
18歳・19歳	32.1	42.9	7.1
20～29歳	25.2	19.3	21.0
30～39歳	20.3	19.3	23.4
40～49歳	21.5	23.0	27.4
50～59歳	26.1	21.8	19.2
60～64歳	29.4	26.9	21.8
65歳以上	30.1	23.2	20.6
< 地域別 >			
名古屋地域	29.7	21.4	22.1
尾張地域	23.7	23.5	22.3
西三河地域	24.2	24.5	19.8
東三河地域	29.9	20.4	23.8
< 職業別 >			
自営業者	28.6	25.4	25.4
勤め人	24.6	23.0	21.8
無職	29.1	22.1	21.1

